

科目名	急性症状とケア	授業時間	単位
		15 時間 (8 コマ)	1 単位
科目のねらい・ 目 標	1. 救急患者の急性症状に対し、症状進行予防、症状緩和、また合併症予防に向けた安全かつ有効な救急看護を实践できる。 2. 患者と家族の心理・社会的アセスメントを踏まえたメンタルケアを实践できる。		
回 数	内 容 (方法)		
1-6	1. 急性症状への対応 1) 胸痛 2) 腹痛 3) 呼吸困難 4) ショック 5) 頭痛 6) 意識障害		
7-8	1. 患者と家族へのメンタルケア		
評 価	筆記試験 レポート		
テキスト	なし		
参考文献	1. 富岡譲二(監修)、櫻井利江(編集)：知っておきたい急変のシグナルと対応、日本看護協会出版会 2. 日本救急看護学会(監修)、日本臨床救急医学会(編集)：JNETC コースガイドブック、へるす出版 3. 日本外傷学会・日本救急医学会(監修)：JATEC、外傷初期診療ガイドライン、へるす出版 4. 山勢博彰 編著：救急・重症患者と家族への心のケア. メディカ出版. 5. 山勢博彰 編集：救急・重症ケアに今すぐ生かせる みんなの危機理論		